



《尾州半田新川端／東海道風景選集》 木版、紙 昭和10年 渡邊木版美術画舗蔵

# 川瀬

KAWASE HASUI

# 巴水

郷愁の  
日本風景  
展

生誕  
一三〇年

2013 | 11 | 26 (火) → 2014 | 1 | 19 (日)

千葉市美術館  
Chiba City Museum of Art  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
TEL 043-221-2311 <http://www.cma-net.jp>

開館時間／10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) ＊入場受付は閉館の30分前まで 休館日／12月2日(月)・16日(月)・29日(日)～1月3日(金)・6日(月)

観覧料／一般1000円(800円)、大学生700円(560円) ＊小中学生、高校生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 ＊( )内は前売り、団体20名以上、千葉市内にお住まいの65歳以上の方の料金  
＊前売券は千葉市美術館ミュージアムショップ(11月17日まで)、ローソンチケット[Lコード:36144]、セブンイレブン[セブンコード:026-108]および、千葉都市モノレール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口(1月19日まで)にて販売  
☆きもの割引 1月4日(土)～19日(日)にきものを着てご来館の方は観覧料2割引+粗品贈呈

主催：千葉市美術館／NHKサービスセンター 特別協力：渡邊木版美術画舗 協力：ギャラリーヌーベル

川瀬巴水は明治16(1883)年、東京市芝区露月町(現在の港区新橋5丁目)の生まれ。幼い頃から絵を好み、画家を志しましたが本格的な修業の開始は遅く、鏗木清方への入門を果たした後のこと。すでに27歳になっていました。

転機が訪れたのは大正7(1918)年。同門の伊東深水が手がけた連作《近江八景》を見て木版画の魅力に打たれます。そして版元・渡邊庄三郎と組み、塩原に取材した三部作を翌年発表。写生に基づく温雅な下絵が清新な木版画となり、好評をもって迎えられました。以後旅にではスケッチをし、東京に戻っては版画を作るという暮らしを、病で世を去る昭和32(1957)年まで続けたのです。

巴水の旅は日本全国に及びました。名所旧跡も選びましたが、多くはかつて日本のどこにでもあった風景。四季や時刻の表情を大切に、またしばしば土地に暮らす人々を点景として織り交ぜながら、おぼろ月の、わきたつ入道雲の、そぼふる雨の、しんしん雪の降る風景を、巴水はあくことなく描き続けました。生涯に残した木版画は600点を超えます。旅の印象を抒情的に描くその作風から、「昭和の広重」とも称えられました。

本展は、渡邊庄三郎の孫である渡邊章一郎氏の全面的な協力を得て開催されます。その良質な渡邊版を惜しみなくご出品いただくほか、巴水の生の感興を伝える写生帖や原画類をあわせて展示し、旅先での足取りや版画制作の過程も浮き彫りにします。今やどこにも存在しない、懐かしい日本の風景に会いに。展示室を巡る旅に、ぜひお出かけください。  
\*会期中一部展示替がございます。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧

- ①《雪の増上寺》木版、紙 大正11年
  - ②《鯉のぼり(香川県豊浜)》木版、紙 昭和23年
  - ③《新大橋/東京二十景》木版、紙 大正15年
  - ④《房州鴨川》木版、紙 昭和9年
  - ⑤《上州法師温泉》木版、紙 昭和8年
  - ⑥《浦安之残雪》水彩、紙 昭和7年頃
  - ⑦《宮城県 安住村つがる嶋》水彩、紙 昭和9年頃
  - ⑧《暮れ行く古川堤》木版、紙 大正8年
- \*所蔵はいずれも渡邊木版美術画舗

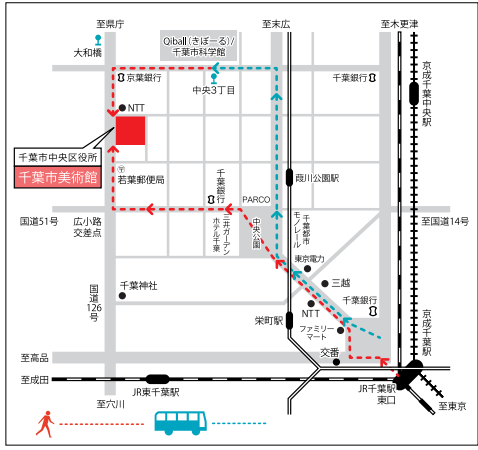
- 記念講演会 「渡邊版画店と川瀬巴水」  
11月30日(土)14:00より(13:30開場) 11階講堂にて  
講師：渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗社長)  
定員150名(往復はがきによる事前申込制)／聴講無料
- 記念トークショー 「父・巴水を語る」  
1月11日(土)14:00より(13:30開場) 11階講堂にて  
講師：川瀬文子(川瀬巴水長女)＋鈴木昇(ギャラリーヌーベル代表)  
定員150名(往復はがきによる事前申込制)／聴講無料

(申込方法)往復はがきに郵便番号、住所、電話番号、氏名、参加希望の企画名、参加人数(2名までお申込可)を明記の上、下記までお申し込みください。(1通で複数のイベントにお申し込みはできません。応募多数の場合は抽選となります)  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8 千葉市美術館 イベント係  
\*「渡邊版画店と川瀬巴水」は11月20日(水)、「父・巴水を語る」は12月20日(金)必着

- 市民美術講座  
「川瀬巴水の写生帖から」12月7日(土)  
「新版画の精華—渡邊庄三郎の仕事」1月13日(月・祝)  
いずれも14:00より(13:30開場) 11階講堂にて／先着150名様／聴講無料  
講師：西山純子(当館学芸員)
- 新春の獅子舞  
1月4日(土)の開館時には、会場入口で獅子舞(出演：登渡神社登戸神楽囃子連)がお迎えます。
- ギャラリートーク  
担当学芸員による：11月27日(水)14:00より  
ボランティアスタッフによる：会期中の毎週水曜日(11月27日を除く)14:00より  
\*水曜日以外の平日の14:00にも開催することがあります。  
\*混雑時は中止する場合があります。

- 版画の摺り実演 「川瀬巴水《荒川の月(赤羽)》を摺る」  
12月22日(日)14:00～16:00(13:30開場)  
11階講堂にて／観覧無料  
講師：渡辺英次(渡邊木版美術画舗摺師)  
解説：渡邊章一郎(渡邊木版美術画舗社長)  
\*会場の出入りは自由です(混雑状況によって入場を制限する場合がございます)

- 同時開催(所蔵作品展)  
「渡邊版—新版画の精華」  
\*「生誕130年 川瀬巴水展」をご観覧の方は無料
- 次回展預告  
「江戸の面影 浮世絵は何を描いてきたのか」  
会期：1月25日(土)～3月2日(日)



[交通案内]  
\*JR千葉駅東口より  
徒歩約15分／バスのりば⑦より大学病院行または南矢作行にて「中央3丁目」または「大和橋」下車徒歩約3分／千葉都市モノレール県庁前方面行「靉川公園駅」下車徒歩約5分  
\*京成千葉中央駅東口より徒歩約10分  
\*東京方面から車では  
京葉道路・東関東自動車道で宮野木ジャンクションから木更津方面へ、貝塚IC下車、国道51号を千葉市街方面へ約3km、広小路交差点近く  
\*千葉市中央区役所と同じ建物です。  
\*地下に区役所と共用の機械式駐車場がありますが、混雑時はご不便をおかけすることもありますので、公共交通機関でのご来館をお願いします。

**千葉市美術館**  
Chiba City Museum of Art  
〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8  
Tel. 043-221-2311 (代)  
http://www.cma-net.jp

